



田代正美会長兼CEOに優勝を報告した竹村奈緒美主将(左から2人目)ら部員＝多治見市大針町、パローホールディングス本部

パローHD女子剣道部、中部実業団V

「つなぐ戦い」で快挙

田代会長に喜びを報告

多治見市

18日に愛知県小牧市で開かれた第36回中部地区実業団女子剣道大会で初優勝したパローホールディングス(HD)の剣道部が19日、多治見市大針町のパローHD本部に田代正美会長兼CEOを訪ね、快挙を報告した。

同部は今春発足し、大会には初めて出場。トーナメントで強豪のNTP名古屋トヨペット本社(愛知)、パナソニックデバイスSUNX B(愛知)など4チームを破り栄冠をつかんだ。本部には大将を務めた竹村奈緒美主将(33)＝6段＝と先鋒の市来真林5段(25)、中堅の宮田和枝5段(28)、補欠の境井葵4段(22)が訪れ、優勝旗を披露。田代会長兼CEOは「実力が発揮された。今度は日本一に向け、大いに期待している」とねぎらった。

竹村主将は「決勝で先鋒が2本を取るなど、メンバ

ーが後ろにつなぐ戦いをしてくれた」と大会を振り返った。来年3月の全日本女子実業団剣道大会でベスト8以上になる目標を掲げており、「出稽古や男性との

稽古を重ねて技術、体力の向上を図り、レベルアップしていきたい」と意欲を示した。(小森直人)